

【プレスリリース】

報道関係者各位

2024 年 12 月 2 日
株式会社セイノー情報サービス
株式会社ブリスコラ

セイノー情報サービス、 輸配送管理システムの API プラットフォームに ブリスコラの「BAMs Series」を導入

～ ドライバー端末向けのシステムを API 連携で実現し、
配送プロセスや顧客へのサービス向上の最適化を推進 ～

株式会社 セイノー情報サービス(本社:岐阜県大垣市、代表取締役社長:松本 充博、以下:セイノー情報サービス)と株式会社ブリスコラ(本社:東京都港区、代表取締役:末貞 慶太郎、以下:ブリスコラ)は、西濃運輸株式会社および全国輸送グループ各社の輸配送業務の配送効率向上および物流のデジタル化の実現に向け、APIを活用したシステムの構築とドライバー端末との各種業務アプリケーション連携の API 管理に、ブリスコラのフルライフサイクル API 管理製品「BAMs Series」を採用し稼働開始したことを発表します。

セイノー情報サービスは、西濃運輸および全国輸送グループ各社が輸配送業務に必要となる各種データとドライバー端末間の連携に API を活用し、API プラットフォームの構築を行いました。また、ドライバー業務としての操作性を重視したドライバー用ハンディターミナルとスマートフォンが一体となった新型端末※1、約 2 万台の使用を想定した導入が進んでいます。今回構築した API 連携による輸配送管理システムの API 管理にブリスコラの「BAMs Series」を導入したことで、今後想定される端末数増加に伴う API コール数増加への対応や、システムの安定稼働や予防検知を含めた運用にも注力し、ドライバーの業務効率向上と荷物を送付・受領するお客様への良質なサービス提供を実現してまいります。

これらドライバー向け新型端末および API を活用したシステムの刷新により、配送プロセス全体の最適化を図り、セイノーホールディングスが掲げる「物流 DX」の取組みのひとつとして物流のデジタル化を強く推進し、物流量の増大や労働力不足といった物流業界の抱える課題をデジタル化によって緩和できるよう、物流サービスの各種システムに API を広く活用していきたい考えです。

※1 物流 DX 推進/新型ドライバー用ハンディターミナルの導入 <https://www.seino.co.jp/seino/news/stc/2024/0202-01.htm>

■ 物流業界における課題

物流業界においては、2024 年 4 月より労働時間削減を目指した働き方改革関連法が施行され、労働環境の改善がされる反面、労働力不足の懸念が大きくなっています。また、EC 市場の成長に伴う配送物量の増大や、燃料費高騰等の

コスト増大の中での収益確保への懸念といった課題を抱えており、これらの課題緩和や解決に向けた取組みのひとつとして、より先進的な物流のデジタル化への取組みが急務となっています。

■ 物流のデジタル化「物流 DX」への取組み

セイノーホールディングスは、「Team Green Logistics」をスローガンに、業界や企業の垣根を超えたオープン・パブリック・プラットフォーム(O.P.P.)を展開し、物流効率化への施策として「物流 DX」を推進しています。セイノー情報サービスは、この「物流 DX」推進の一環として、さらにサプライチェーン全体の徹底した最適化とスマート物流サービス実現のための物流標準化への取組みとして、AI やロボット化等の先端技術の活用や API 活用によるシステム構築を行い輸送業務のデジタル化を強く推進しています。さらに自社開発のスマート物流サービス「BRAIS」の外販提供により、物流の自動化・デジタル化を通じ、既存の業務改善や働き方改革を実現し、生産・輸送・倉庫・統合物流それぞれの管理における円滑な物流サービスの提供に尽力しています。

■ システム全体のオープン化と API を活用した配送プロセスの最適化を実現

セイノー情報サービスは、物流業界の抱える課題を踏まえ、またグループ企業の主軸事業である輸配送業務におけるデジタル化に率先して取り組み、時代に沿ったシステムのオープン化を進めています。このオープン化の中で、各システムをコンテナ化しマイクロサービスとして構築、この連携に API を活用し API 管理に BAMs Series を導入したことで運用時のメンテナンス効率や柔軟性を高め、配送プロセスの最適化を実現しました。これらの取組みにより、社内およびドライバーに配慮した環境をシステム面から支援することで、その先のお客様へも良質な新たなサービス提供を実現し、さらに物流サービス全体の効率化の推進を加速させたい考えです。

■ 「BAMs Series」採用の理由

セイノー情報サービスは、API を活用したシステムの構築にあたり「API 数増加への柔軟性、構築・運用にわたっての適切な費用感」を念頭に、製品選定を行いました。その結果、今後 API の数が増加する際にも大幅な追加コストを意識せず柔軟に API 連携・管理を実現できる製品として、ブリスコラの提供する「BAMs Series」を採用しました。また、これまでもオープンソースソフトウェア(以下、OSS)を積極的に導入しており、OSS のメリットや運用フェーズでのサポート面などを考慮した製品選定の中で、OSS の API ゲートウェイ製品として実績のある「Kong Gateway」をベースに開発され様々な業種において豊富な導入実績のある「BAMs Series」に着目し採用に至りました。ブリスコラの提供する BAMs Series の製品群のうち、OSS Kong Gateway と BAMs Manager によって構成される「BAMs Gateway」を用い、輸配送時に必要となるデータやアプリケーション間を API で連携するための API プラットフォームを構築、さらに「BAMs Monitor」を導入することで、API プラットフォーム上の API の監視や運用の利便性向上を実現しています。

今回の BAMs Series の製品群の中で採用した製品の詳細は以下になります。

・BAMs Gateway

OSS Kong Gateway

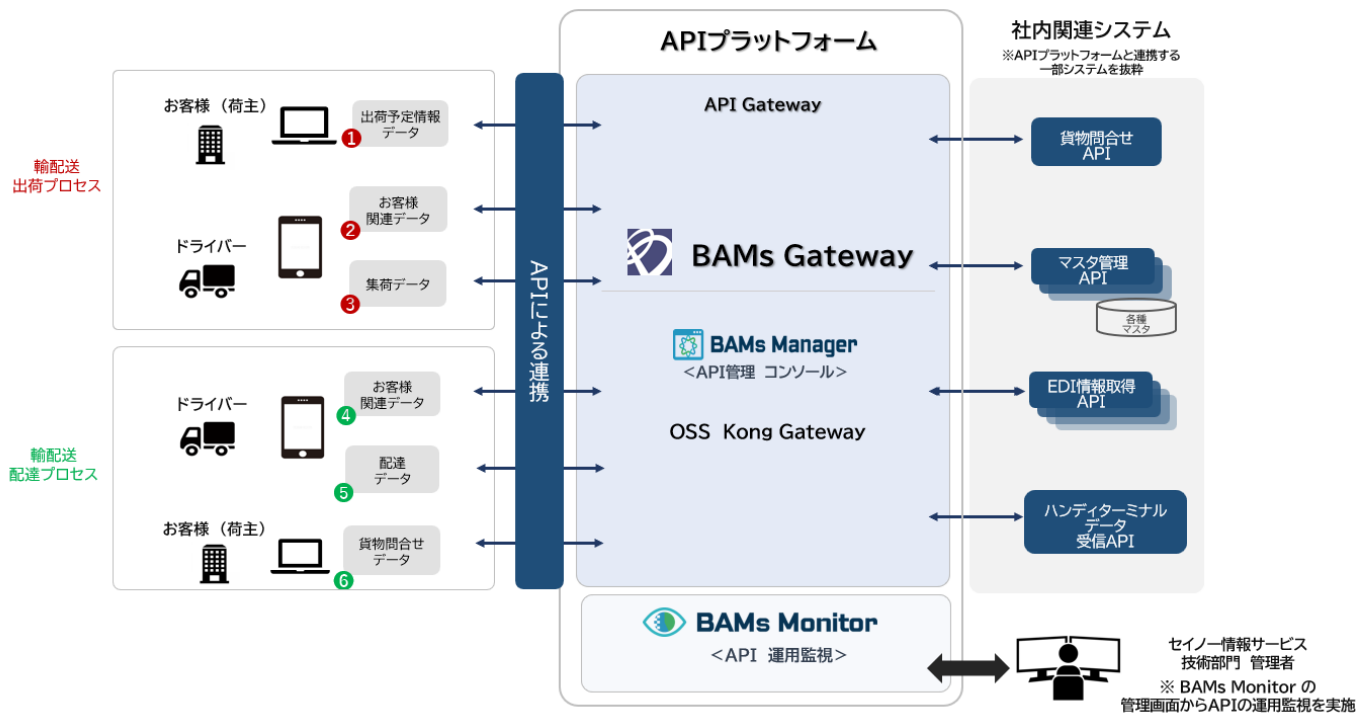
OSS 製品としてのメリットを最大限に享受し、API 数の増加を意識せず、適切なコストで柔軟な API 管理を実現。

BAMs Manager

OSS Kong Gateway のアドミン管理として、API 管理者/開発者に最適な日本語コンソールを提供。

・BAMs Monitor

プラグイン設定により API 全体を可視化し監視する機能を提供。利用状況の把握、障害の早期発見、パフォーマンスの最適化をスムーズに行うことが可能となり、効率的な API プラットフォーム運用を実現。



■ 今後の展望

システム全体のオープン化を進める中で API の活用範囲を今回のドライバー向けの業務アプリケーションだけでなく、自社内の従業員向けのアプリケーションや顧客サービスのフロントまで拡張していきたいと考えています。また、API の活用により、利用状況の把握や問題の切り分けを含めた管理性を高めることで、メンテナンス効率の向上や運用監視といった運用フェーズでの効果も期待しています。さらに、今回構築した API を活用したシステムを取引のある関係企業といったお客様にも展開できるものとして、グループ企業全体のサービス拡張のための基盤としていきたい考えです。

■ セイノー情報サービス からのコメント

株式会社 セイノー情報サービス 技術部 担当部長 奥西 哲也

物流は生活を支える重要なインフラであり、快適な物流サービスを継続的に提供していくことが重要と考えています。そのために、データを利活用したシステム構築を実現し、物流プロセスの全体を最適化するためのシステムに API の活用が必要という認識にいたりました。API 管理の導入実績、また製品の柔軟性や導入・運用までの費用面をトータルに判断した結果、保守性とコストメリットを享受できるブリスコラの「BAMs Series」を採用いたしました。API 活用によるシステム構築により、物流のデジタル化をより加速させ、物流業界の抱える課題の緩和と良質な物流サービスの提供を実現してまいります。

■ 株式会社 セイノー情報サービスについて

<http://www.siscloud.jp/> (企業サイト)

株式会社セイノー情報サービスは、西濃運輸グループの情報戦略会社として 1984 年に設立され今年で 40 年目を迎えました。グループの経営戦略を IT 面からサポートすることで事業競争力の強化を図るとともに、グループ内外で培った経験・ノウハウを活かした最先端の物流 IT ソリューションを提供しています。近年は、BRAIS (Big Data、Robot、AI、IoT、Sharing Service) を活用して、お客様のサプライチェーンを可視化し、再構築する活動に取り組んでいます。

■ 株式会社ブリスコラについて

<https://www.briscola.co.jp/> （企業サイト） <https://briscola-api.com/> （ブリスコラ API 事業専用サイト）

株式会社ブリスコラは、デジタルテクノロジーを活用した幅広いアプリケーションやサービスを実現するために重要となる API ソリューションに特化した事業支援会社です。OSS Kong Gateway をベースにしたフルライフサイクル API 管理製品「BAMs Series」を自社開発し、API 管理に必要となる機能を包括的に提供しています。また、API 利活用に関わるコンサルティングや API プラットフォームの構築支援も行っており、これまで多くの導入実績を有しています。

■ BAMs Series について <https://briscola-api.com/products/series/>

BAMs は、Briscola API Management Service の略であり、ブリスコラが提供する API 事業における製品・サービス・ソリューションからなる全ポートフォリオの総称です。世界で多く採用されている OSS の API ゲートウェイである「Kong」を中心に、API の設計開発から公開運用にいたるまでのフルライフサイクル API 管理を実現した「BAMs Series」をサポートを含めサブスクリプションサービスとして提供しています。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社 セイノー情報サービス 営業推進部
TEL：0584-77-2327 E-Mail：info@sis.seino.co.jp

株式会社ブリスコラ 広報部
TEL：03-6441-2614 E-mail： press@briscola-api.com

◆本製品に関するお問い合わせ先

株式会社ブリスコラ
TEL：03-6441-2614 <https://www.briscola.co.jp/contact/>